



2022年11月7日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード: 3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役常務執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績予想(2022年5月13日付公表)と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績との差異

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異
(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,280	百万円 150	百万円 60	百万円 60	円 銭 2.01
今回実績 (B)	1,945	90	▲0	2	0.07
増減額 (B-A)	▲334	▲59	▲60	▲57	
増減率 (%)	▲14.7	▲39.9	—	▲96.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,938	95	6	4	0.16

(2) 差異の理由

商業施設事業においては新型コロナウイルス感染症第7波の影響が想定より長引いたことから計画を下回り、さらに、ヘルスケア事業および繊維・アパレル事業において新型コロナウイルス感染症の影響を脱し市況が回復すると見込んでいたところ、アパレルOEMや一般履装品部門における市況回復が遅れたため計画を下回ったことが響き、売上高が計画を下回りました。

損益面では、原材料価格の上昇分を十分に価格転嫁することが出来ず、各事業別粗利率が計画を下回りました。販管費を計画比で約6%削減しましたものの、売上高および粗利率がともに計画を下回ったことが響き、営業利益が計画を下回りました。営業外損益は概ね計画通りでしたが、営業利益が計画を下回ったことが響き、経常利益以下が計画を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間連結業績予想を下回ることになりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、市況改善に伴う業績向上を見込んでおり、現段階では前回の公表数値を据え置くことといたします。

以上